

2018年11月30日

お客さま各位

## 「クラウド会計ソフト free」との API 連携開始のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

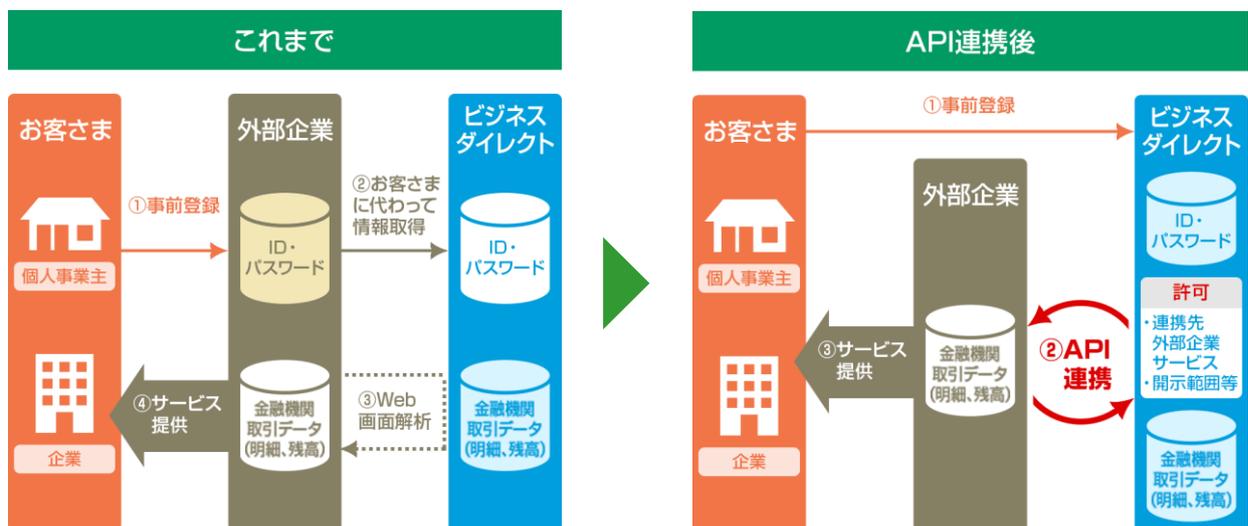
名古屋銀行では、2018年11月30日より法人向けインターネットバンキング「名古屋ビジネスダイレクト」と「クラウド会計ソフト free」との API 連携を開始しましたのでお知らせします。

### ◆ API 連携とは

※ Application Programming Interface の略

お客さまに連携認証を行っていただくことで、名古屋ビジネスダイレクトで提供している「残高」や「入出金明細」などの情報データを、より安全・より正確に外部企業が活用できるようになり、お客さまの利便性を高めるサービスのことです。

安全性向上	従来は「ログインパスワード」や「電子証明書」などの認証情報を外部企業のサービスに登録する必要がありましたが、API 連携後は登録する必要がなくなります。
正確性向上	従来は外部企業のサービスが名古屋ビジネスダイレクトの Web 画面を解析し「残高」や「入出金明細」などの情報を取得していましたが、API 連携後は外部企業と名古屋ビジネスダイレクトが直接データのやり取りをするため、正確な情報を連携できます。



2018年11月30日

## ◆ 今回対応した外部企業のサービス

外部企業のサービス名	外部企業
クラウド会計ソフト freee	freee 株式会社

※ 今後順次拡大していく予定です。

## ◆ API 連携のご利用方法

外部企業サービスの金融機関口座登録画面で当行を選択いただきますと、名古屋ビジネスダイレクトの API 連携認証画面が表示されます。画面の案内に従って操作をお願いいたします。

[📖 「API 連携認証画面の操作手順」はこちら](#)

連携認証には一定の期間（認可期間）を設けています。認可期間を経過した場合は、あらためて API 連携認証の操作が必要となります。名古屋ビジネスダイレクトでの登録状態が変更となった場合など、再度 API 連携認証の操作が必要となることがあります。

※ API 連携認証は、必ず電子証明書を取得しているパソコンから操作をしてください。

## ◆ 注意事項

外部企業のサービスは、名古屋銀行が提供するサービスではありません。外部企業のサービスに関するお問い合わせは、当該企業のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

以上